



～ふじなみ幼稚園（黒木町本分）～

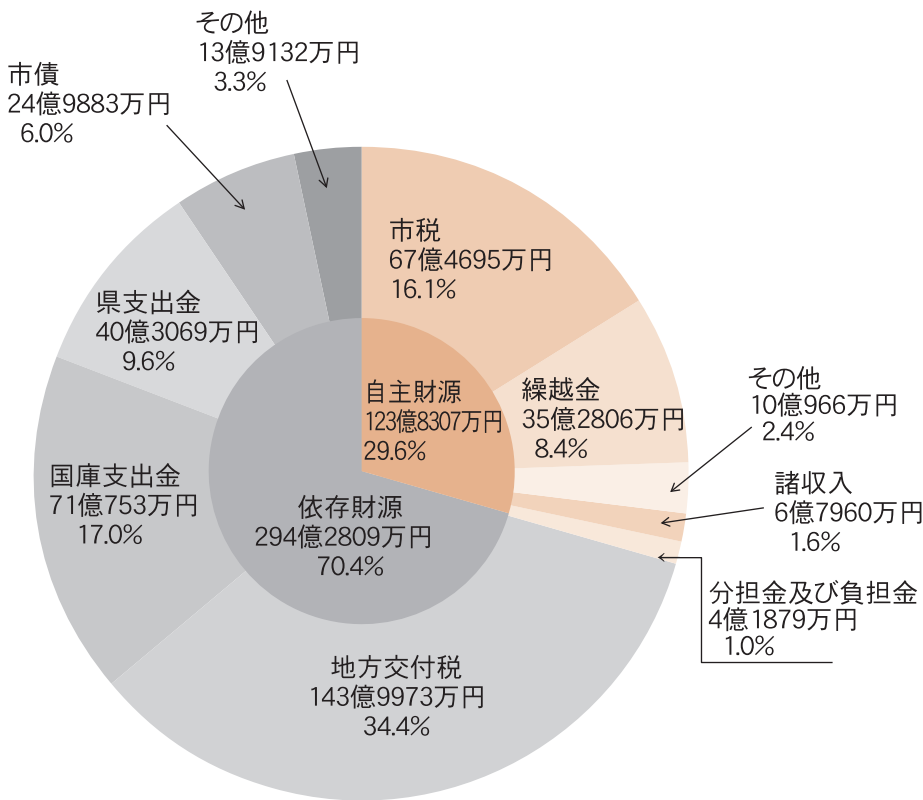
議会だより や め

No.150 平成27年11月1日

- P 2 **予算はどう使われたか** ～26年度決算～
- P 9 **ここが聞きたい!** 一般質問 **10人** の議員が登壇
- P 16 **先進事例を学ぶ** ～視察研修報告～
- P 17 **11月に議会報告会を開催します**

どう使われたのか

歳入 418億1116万円



9月定例会は9月2日から9月25日までの24日間の会期で開催しました。市長より提案された議案は、2億4376万円を追加する一般会計補正予算、来年3月にオープン予定の矢部地区観光物産交流施設の設置条例案など議案16件と平成26年度決算認定（一般会計、特別会計11、水道事業会計）が提案され、いずれも原案どおり可決・認定しました（賛否表P18）

平成26年度の一般会計決算額は、歳入総額が418億1116万円（前年度比19億1837万円増）で、歳出総額は393億4207万円（同34億7734万円増）です。ともに3年連続で増加しました。差引額は、24億6909万円になり、そのうち18億6861万円が、翌年度へ繰越して支出する財源で、実質的な黒字は6億48万円です。また、このうち1億円を財政調整基金（貯金）に積み立てています。

平成27年5月末の財政調整基金残高は117億4千万円となっています。黒字となった主な理由は、歳入面において市税等が見込を上回ったことや歳出面において工事費の執行残や経常経費（毎年度必ず支出する経費）等の節減によるものです。

市債（借金）の26年度末残高は289億7054万円です。昨年度末より10億6696万円の減となっています。

歳入

自主財源の柱となる市税が歳入全体の16・1%にあたる67億4695万円です。前年度より1億5939万円（2・4%）の増収となっています。

依存財源である地方交付税が歳出全体の34・4%にあたる143億9973万円です。

9733万円です。3億1889万円（2・2%）の減少となっています。

国・県支出金は災害復旧事業により増加となっています。

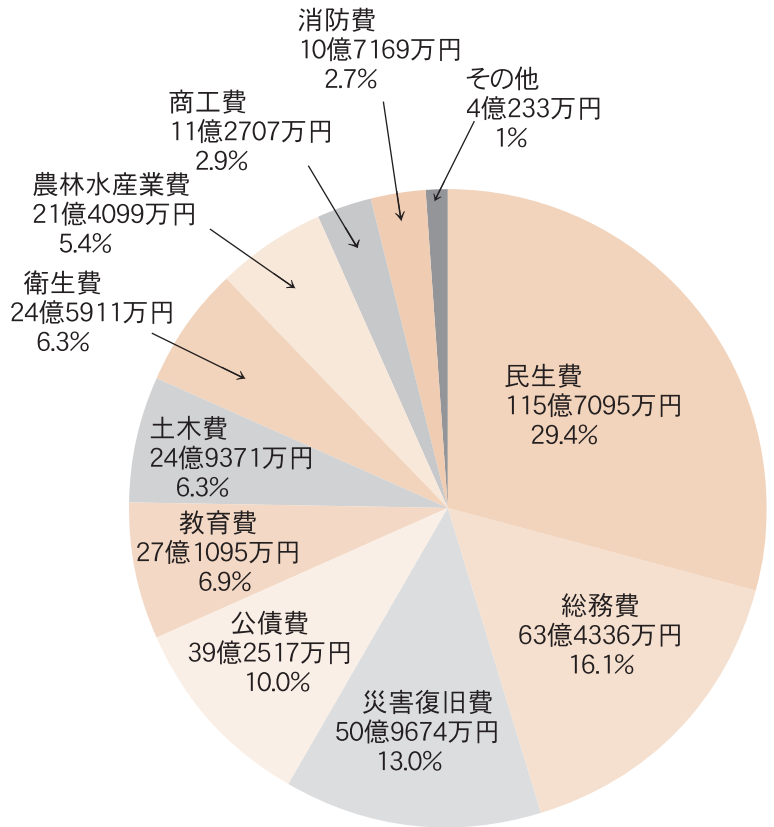
平成26年度 一般会計 決算認定

市の予算は

歳出 393億4207万円

平成26年度の主な事業

- 雇用促進住宅改修事業 9082万円**
 老朽化した市営住宅の代替住宅及び子育て世帯や住宅困窮者の住まいを確保するため、雇用促進住宅を購入した。また、内1棟は入居者の駐車場を整備確保するため解体工事を行った。
- 子育て支援総合施設整備事業 5億1033万円**
 平成24年度からの継続事業で、子育て支援センターと福島保育所の併設施設である子育て支援総合施設が竣工した。地域子育てに関する様々なサービスを提供し、子育て中の家庭を支援している。26年度は、周辺整備事業として駐車場や公園の整備及び看板の設置等を実施し、さらに利用しやすい環境が整った。
- 地域間交流施設整備事業 1301万円**
 大淵小学校跡地を改修し、スポーツ合宿や研修などの機能を有する施設を整備するため、実施設計業務を行った。また、矢部地区において食事の提供や物産の販売を行う施設を整備するため、実施設計業務を行った。
- 岩戸山歴史文化交流館建設事業 4億588万円**
 平成25年度に着工した岩戸山歴史文化交流館（建築面積2082.29平方メートル）が完成した。このことにより、八女の多様な歴史文化の魅力を広く情報発信し、交流を促進するための拠点を整備することが出来た。今後、重要文化財の移設等を行い、平成27年11月下旬の開館に向け準備を進める。



歳出の30%近くを占める民生費は115億7095万円（前年度比10億9500万円増）で、臨時福祉給付金、国民健康保険事業費特別会計繰入金、保育所等整備事業費補助金、子育て世帯臨時特例給付金が増加したことが主な要因です。

総務費は63億4336万円増）

九州北部豪雨災害による復旧事業の増加により災害復旧費も増加しています。（同2億5392万円増）

歳出

次年度の予算編成に向けて 執行部へ提言

～決算審査特別委員会～

認定第1号

平成26年度八女市各会計歳入歳出決算認定

について

決算審査特別委員会とは？

前年度の予算が議会の議決の趣旨に沿って適正に執行され、かつ行政効果及び住民サービス・住民福祉の向上にどのように役立ったかなど、目的の達成度を審査する特別委員会です。

この特別委員会は、議長及び議会選出監査委員を除く議員（24名）で構成され、分科会（各常任委員会）ごとに審査が行われました。

また、分科会の前後に全体会を行い、各分科会委員長から審査の報告がありました。

【一般会計】

① 下水道整備区域と浄化槽設置区域の住民負担の公平化を図り、浄化槽設置整備事業費補助金の増額も視野に入れながら浄化槽設置推進及び環境整備を図られたい。

② 資源ごみの細分化について、市民への啓発や分別方法を指導徹底するとともに、新たなごみ減量化に努められたい。

【国民健康保険事業費特別会計】

① 国保会計については、依然として厳しい状

況にある。他部局との連

携を強化し保険税収納率向上に向けた対策を講じるとともに、さらなる財源確保に努めるなど、国保会計安定化のための措置を講じられるよう強く指摘する。

② 市民の健康維持増進を図るため、市民の意識改革や特定健診並びに各種がん検診等の受診率向上を図るための具体策を検討実施されるよう要望する。さらに、医師会との連携を強化するとともに、シエネリック医薬品の利用拡大に向け市民へ

の啓発をおこなうよう指摘する。

【住宅新築資金等貸付事業費特別会計】

① 住宅新築資金等貸付事業については、法的措置も含め収納率の向上に向けた対策を強化される

とともに、近隣市町との連携を図り国に対して解決の方策をとられるよう働きかけることを重ねて要望する。

【介護保険事業費特別会計】

① 介護保険料の滞納額が年々増加している。今後、他部局との連携を強化し、さらなる収納率向上に向けた対策を強化されるとともに、介護予防事業についてもさらに事業効果が高められるよう指摘する。

② 要介護認定者が増加

する中、介護予防の観点から、高齢者が地域で自立して生活ができるよう要介護認定者以外に対しても、平成28年度より住宅改修費補助事業を導入することを強く要望する。

③ 認知症についての正しい知識の普及と、認知症予防事業の充実及び地域での支援体制づくりの構築に努められるよう要望する。

矢部村のソマリアンハウス 本年度中に閉鎖へ



杣の里の中心に位置するホテル「ソマリアンハウス」

一般財団法人秘境杣の里の平成26年度
決算及び平成27年度事業の計画の報告
について

問 宿泊施設ソマリアンハウスの廃止決定に至った経緯は。

答 長期低迷の中で経営診断や県から指摘があり、観光物産交流施設の設置に伴い閉鎖の決断をしました。

問 理事会での審議状況は。

答 非常に危機感を感じておられたが抜本的改革には至らず、市が最終的に指導的役割を果たした。

問 理事会の責任は。

答 理事会の責任は重いものがあるが、市の力を借りなければ抜本的解消ができない状況であった。

問 理事会を指導、監督する立場の評議員会が機能していなかったのではないかと。

答 評議員会は、理事・監事の選任・解任の権限がある。事業内容も審議している。

問 今後の財団運営には相当なハードルがあると思うが。

答 今まで公益・収益を問わず公園事業全体を公益目的で支出計画していた。今後は新しい公益目的の支出計画を県と協議する。明るい兆しはある。

問 速やかに財団を閉鎖し新たな対策をもってやり直すべきではないか。

答 ホテル・レストランの閉鎖は、住民の意志に配慮した再生計画を立てないと精神的痛手を被る。住民が協力し守っていくという意識を持ってもらうことが大事である。赤字だからつぶすということではなく、地域が疲弊しないよう努力しなければならぬ。

マイナンバー法の施行に伴い 個人情報保護条例を改正

八女市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

問 最近では年金機構の
情報流出もあり、個人情
報については市民、国民の
間では非常に不安があ
る。対策は講じられている
のか。

答 年金機構の情報流出
の問題に絡み、国からもセ
キュリティ面で指示があつて
いる。それらを踏まえて、
より安全な体制を構築し
ていく。

問 個人が自分の情報を
どのようにして知ることが
できるのか。

答 情報提供等記録開示
システムというものが運用
されることになっている。
これにより自宅のパソコン
から行政機関が保有する
個人番号を含む個人情報
がいつ、どのようにやりと
りされたかを確認できる。

問 この問題についてはき
ちんと周知徹底を図るべき
ではないか。

答 マイナンバーを守るた

めには、まず各個人が自
分の番号をむやみに他人に
見せたりしないことが一番
の基本である。行政として
は外部に個人情報が漏れ
ないような対策をやってい
く。
また、自分の個人情報
を知りえる方法もあること
を含め、市民のみなさんに
は周知を十分やっていかな
ければならないと思ってい
る。

マイナンバーとは？

国民一人ひとりに付けられる12桁の番号のことで、複数の機関が管理する個人情報と同じ人の情報であることを確認するための社会基盤（インフラ）です。

八幡保育所と光友保育所を民営化へ

平成28年4月1日から

八女市社会福祉施設設
置条例の一部を改正する
条例の制定について

育施設を社会福祉法人に
譲渡するにあたり必要な
改正をするため提案され
た。

平成23年11月に策定し
た八女市公立保育所再編
（長峰、福島、北山）に
計画に基づき、八女市立
八幡保育所及び光友保育
所を平成28年4月1日か
ら民営化するため、同保
が あつた。

人事案件

公平委員会委員の選任

廣 津 洋 吉 氏（再任）

人権擁護委員候補者の推薦

太 郎 良 キヌ子 氏（再任）

公平委員会委員とは？

公平委員会は、3人の委員をもって組織され、任期は4年です。
主な職務は、職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関する措置要求などを審査判定します。

委員会審査

総務文教

審査の主なもの

- 平成27年度一般会計補正予算 (賛成多数で可決)
 - ・総務管理費 229万円
 - ・社会教育費 800万円
- 平成26年度各会計歳入歳出決算認定 (賛成多数で認定)

一人ひとりにナンバーカード

問 個人情報が入らないような準備はできているのか。

答 今回の補正予算によりインターネットで情報が漏れないような機器の導入を図る。

問 特定個人情報保護評価は評価書の公表までを指すが、どうなっているのか。

答 評価書は、ホームページ



〔おもて面(案)〕

映画製作費補助金について

問 題名、スケジュール、補助金の割合は。

答 西日本短期大学附属高等学校の実話を元に映画化されるもので、題名は「野球部員、舞台に立つ」。平成28年3月から撮影が開始され、9月におりなす八女で上映会、10月から全国一斉公開予定。割合としては5%程度の補助金

である。八女市の風光明媚な場所等々についても撮影箇所にも予定であるため、八女市のPRも兼ねている。

忠見小学校学童保育所ほかを新增築

問 学童保育事業の今後の見通しと建設計画は。

答 年度当初に4か所の学童保育所において待機児童が発生した。児童数は減少傾向であるが働く保護者の増加によりニーズは減らないと予測している。

忠見小学校学童保育所は、敷地内に建設を予定し、本年度に新築工事実施設計を委託したい。

黒木町では木屋学童保

育所、黒木小学校学童保育所、あゆみ保育園学童保育所の3か所を実施している。黒木小学校学童保育所は、定員いっぱいであり増築を検討している。

福島・三河小学校学童保育所は待機児童が出たため、隣接倉庫を改修して利用できるよう検討中である。

問 黒木の3学童保育所を将来は集約するのか。



黒木小学校学区学童保育所「あつまれハウス」

厚生

審査の主なもの

- 平成27年度一般会計補正予算 (全員賛成で可決)
 - ・社会福祉費 7004万円
 - ・児童福祉費 3715万円
- 平成26年度各会計歳入歳出決算認定 (全員賛成で認定)

議会の動き

8月

- 5日 全員協議会
まち・ひと・しごと創生推進特別委員会
厚生常任委員会
- 7日 県南広域水道企業団議会
- 11日 議員定数等調査特別委員会
- 18日 議会だより編集委員会視察研修～19日
- 21日 総務文教常任委員会
行政区長会と議会との意見交換会
- 24日 福岡県市議会議員研修会(北九州市)
- 26日 八女西部広域事務組合議会
- 28日 議会運営委員会

9月

- 2日 平成27年第4回定例会(招集日)
全員協議会
- 7日 本会議(一般質問)～9日
- 10日 本会議(議案審議)
予算審査・決算審査特別委員会全体会
まち・ひと・しごと創生推進特別委員会
- 14日 委員会・分科会～16日
- 18日 予算審査・決算審査特別委員会全体会
まち・ひと・しごと創生推進特別委員会
- 25日 平成27年第4回定例会(最終日)
- 28日 総務文教常任委員会視察研修～30日

10月

- 2日 福岡県南市議会議長会(朝倉市)
- 5日 公立八女総合病院企業団議会
- 6日 議員定数等調査特別委員会
- 7日 全員協議会
厚生常任委員会
- 8日 議会だより編集委員会
- 15日 議会だより編集委員会
福岡県市議会議長会(古賀市)
- 21日 八女地区消防組合議会
厚生常任委員会視察研修～23日
- 29日 男女が輝くネットワーク八女との
意見交換会
- 30日 建設経済常任委員会

建設経済

審査の主なもの

- 八女市矢部地区観光物産交流施設条例の制定 (賛成多数で可決)
- 八女市管理水面条例の制定 (全員賛成で可決)
- 平成27年度一般会計補正予算 (全員賛成で可決)
 - ・林業費 4590万円
 - ・商工費 1200万円
- 平成26年度八女市各会計歳入歳出決算認定 (全員賛成で認定)
- 平成26年度八女市水道事業会計歳入歳出決算認定 (全員賛成で認定)

矢部地区観光物産交流施設が来年3月オープン予定

八女市矢部地区観光物産交流施設条例の制定について

問 観光事業を中心とするのか。また、何をもちて交流とするのか。

答 観光での切り口によるグリーンツーリズムを考えたい。いろいろな魅力がある地区なので、地域、都市間の交流を考えている。指定管理者の公募は、議決後直ちに検討に入り、12月議会に上程。

問 地区内の対応は。

答 運営の円滑化に向け、関係団体へ説明し、協議をしている。

答 地方創生の先行型交付金。企業誘致や伝統工芸による起業等の推進に向けた周知活動を行う。

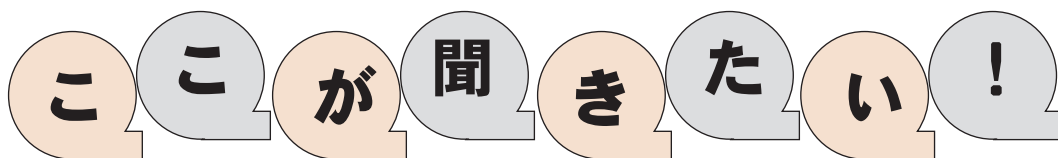
問 今後の森林整備加速化・林業再生事業補助金は。

答 今年度は基金残を活用。事業継続を要望している。

問 シティプロモーションイベント等支援業務委託

矢部地区観光物産交流施設(完成イメージ図)

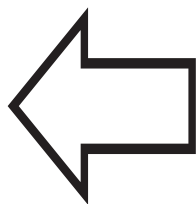




一般質問

月 日	質問者氏名	質 問 事 項
9月7日 (月)	松崎 辰義	1 八女東部活性化事業について
		2 乳幼児医療制度について
		3 介護保険制度について
		4 環境問題について
	高橋 信広	1 健康寿命の延伸について
		2 ふるさと納税制度について
	森 茂生	1 安保法案について
		2 少子化対策について
		3 市営住宅について
	小川 栄一	1 地域包括ケアシステム計画について
9月8日 (火)	田中 栄一	1 災害への対応について
		2 公有林の管理について
	樋口安癸次	1 道路問題について
伊井 渡	1 市職員給与・人件費について	
9月9日 (水)	橋本 正敏	1 ふるさと支援寄附金について
		2 キウイフルーツかいよう病について
		3 企業誘致について
	牛島 孝之	1 八女市の今後の教育に対する考えは
		2 公共施設見直しはどのような検討がされているのか
		3 地方創生の中で八女市の林業活性化、林業新規就業者のために支援できる具体策はあるか
	三角 真弓	1 第6期介護保険事業の進捗状況について
2 住民の交通の手段について		

《一般質問の詳しい内容》



県が子どもたちの医療費助成を拡充するのに伴い、市も検討すべきでは



松崎辰義



矢部村の日向神峡

答 財政状況を踏まえ、今年度中にどうするか十分検討する

東部活性化事業について

問 矢部の問題で、観光を中心とした取り組みがなされているが、基幹産業である農業・林業を中心としたグリーンツーリズムの取り組みが必要ではないのか。

答 農林業という観点は、議論していないが、林業でいえば住宅資材の助成など、別の角度から支援している。今回は、観光を中心に八女市全体の浮揚策として進めてきた。

問 そこが一番不安に思う。観光事業は、いろんなことに左右されやすい。お客さんが一時期来ても、

減れば次の施策を考えなくてはならない。ここは、基幹産業である農林業をどう浮上させるかを考えるべきではないか。

答 今のところ、農林業を切り口としてグリーンツーリズムは考えていない。

問 12月議会で市長は、日向神ダムに遊覧船を浮かべると言われたが、今後どうするのか。

答 できれば、来年度に検討したい。

問 乳幼児医療補助について

問 県の拡充に伴い、中学生までの入院、通院を無料にすべきでは。

答 十分検討する。

問 健康寿命の延伸について

問 特定健診の受診や運動をはじめ健康増進に関する事業への参加者に対するポイント制を導入する考えはないか。

答 今年、筑後市が導入しているが、人材面を含め色々な問題点があるようだが、内容的には前向きに自分たちの健康を捉えて



高橋信広

<平均寿命と健康寿命の差(平成25年全国平均)>

		70	75	80	85	90
男性	平均寿命	80.21才				
	健康寿命	71.19才				
女性	平均寿命	86.61才				
	健康寿命	74.21才				

※健康寿命:健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間

答

健康教育や講演会を実施し、広報を利用した啓発に取り組む

健康に対する意識の向上を、どのようにして市民に広げていくのか

視鏡検査を推進した方が良いと考えて。

ふるさと納税制度について

問 八女市ファンを増やすことがふるさと納税の件数増に繋がると思うが、具体的にどのように取り組んでいくのか。

答 八女市の物産とともにあらゆる八女市の魅力在全国に発信しファンを創り広めていく。件数増のために、東京八女ふるさと会をはじめ他の県人会との交流を進めながら様々な手法を講じていく。

問 ふるさと納税に対して、更に入力を入れて取り組むのか。

答 体制も含め中身を色々な事例を研究しながら進める。

安保法案について市長の見解は



森 茂 生

答 私が今ここで賛成とか反対とかいうのは控えたい

少子化対策について

問 国は地方創生で少子化対策の充実と言っているが、その一方で、地方が乳幼児医療無料化等をやれば、受診が増え医療費が増える。したがってその分、国の交付金を削減するペナルティーをかけている。非常に矛盾した制度だ。市はいくら削減されているか。

答 3千8百万円カットされています。
問 知事会長が矛盾した制度だと言っている。市長会を通じ、止めるように表明すべきだ。

市長会等を通して積極的に発言したい

市営住宅について

問 市営住宅の減免基準は、収入月額2万9千円以下は家賃、敷金の2分の1を減免。5万7千500円以下は4分の1を減免するとなっている。この減免に該当する人が多いと思うが、減免制度を知らない人がいるのではないか。しかし、一部には減免を受けている人がいる。何を基準に減免しているのか。

答 相談を受け、減免申請書を出してもらい、判断しています。



小 川 栄 一

来年度発足する、地域包括支援センターの主たる業務は何か

答 相談を受けて支援できる事業所に繋ぐことである



問 センター事業公募の仕様書に開設日時は市の開庁日時に合わせるとある。また先々は24時間365日対応しなさいとある。意味は何か。

答 センターを丸々開けておきなさいという意味では、携帯や転送電話で、

連絡体制を保持しなさいという意味である。

問 包括ケアシステムの目的の大きな柱の中に「自分が住んでいる地域で安心して生活できる。」とあるが、法人で各地域の特性特色にあったセンターをつくれるか。

答 旧八女市設置の直営基幹型の役割は何か。
答 市全体の情報共有のために、市直営が必要と

考えている。

市民の生命、身体、財産を災害から守るための情報発信と被災情報の確保は

答 検証を重ね、即応した災害対応策を講じていく



田中 栄一



風倒木により被災した電線・電話線の復旧作業

問 災害マニュアルの策定は。

答 避難判断基準などを記載した災害時職員初動マニュアルを策定。また全世帯に防災ハザードマップを配布している。

問 防災ラジオの外部アンテナが破損し受信できないという弱性がある。情報発信手段はどうしている。

答 アンテナの破損は無償で行う。内容に限界があるが、携帯電話エリアメール配信、テレビ画面テロップ放送を実施している。

問 被災地の情報確保は。

答 指定避難所への非常電話設置などで対応。有効な手段があれば強化していく。

問 被災宅地へ復旧補助の考えはないか。

答 現在は考えていない。課題として研究したい。

問 公有林の管理状況は

答 災害に強い民間の模範となる管理をすべきだ。造林地は広葉樹等を植林、森林機能を高める保全管理に努める。

問 財産区有林を地域へ無償払下げする考えは。

答 財産区管理会の意見を尊重し対応したい。



樋口 安葵次

問 北山鞍懸町内の道路を4メートルに拡幅すべきではないか。

答 2、5メートルに拡幅するために地元関係者と協議をしている。

問 宮野に市が購入した土地があるが、どうなっているか。

答 地権者の同意を受け、地元行政区と調整を図りながら、有効活用できるように調査研究をしていきたい。

問 県道玉名八女線の矢部谷峠のトンネル建設に看板をあげたらどうか。

酒井田町内の市道三河43号線を6メートルに改良すべきではないか

答

近隣の予定している路線の早期完成を目指している



市道三河43号線

問 看板設置については福

岡県、熊本県の理解がとれたので28年度中に設置を予定している。

答 看板設置については福岡県、熊本県の理解がとれたので28年度中に設置を予定している。

職員平均年収636万円、年間人件費870万円、高過ぎでは



伊井 渡

答 人事院勧告を尊重し議会の承認を得ている

問 総務省も職員給与は地域の民間給与の状況をよりの確に反映し決定できるように要請している。職員給与は市内給与所得者水準が適正ではないか。それで市職員給与、人件費を市内給与所得者水準に適正化し、その財源で固定資産税等市税の大幅な引き下げや償却資産税を廃止し、市民の負担軽減を早急に計るべきではないか。

答 人事院勧告を尊重し、他自治体との均衡も図り議会の承認を得ている。

問 国の借金額が今年度末には、1160兆円程

答 総務省も職員給与はになるとの予想だが、財政破綻の目安となる国民の預貯金、年金といった純金融資産が1200億、1300兆円であること、を考慮すれば、日本の財政破綻は、時間の問題と考えるのが当然では。また国からの地方交付税等といった依存財源が約7割の八女市、国が財政破綻すれば一溜まりもないと思うが。

答 政府も危機感はあるが、国が財政破綻するから地方も財政破綻し衰退する事は決してあり得ないと思し。



橋本正敏

問 八女市には、多くの農産物、伝統工芸品、伝統文化行事などがある。独自の好礼の品づくりと担当部署の充実は。

答 昨年度4品目から、現在37品目に増やした。今後多様化して魅力ある品を増やしていく。職員の人事についても検討する。

問 キウイフルーツかきよう病について

答 現状と今後の対策・支援について。

問 全栽培面積の1割弱が感染し、伐採や部分切除・薬剤散布で拡大を防止している。花粉のハード事業、改植等の補助事業に加え今後抵抗性品種の



キウイフルーツかきよう病伐採風景

答 八女市ふるさと支援寄附金の現状と増額するための施策について

平成26年度は、7千3百万円でお礼の品を充実したい

導入等要望していく。

問 企業誘致について

答 廃校施設の活用と企業誘致について。

問 現在、市の交流施設や体育施設に活用のほかオフィス系の事務所など活用を検討中。

問 情報通信、金融関連企業などの誘致と近隣大学等と連携した若者の勧誘はどうか。

答 木屋小学校跡にIT関連企業の誘致を検討中。今後、トップセールスで八女の情報を発信し、都市圏大学と連携する。

八女市の林業活性化、林業新規就業者のためにできる支援策は



牛島 孝之

答 林業就業者の確保、後継者対策は最も重要な課題である

○林業大学校(専門コース等)の一覧表

番号	都道府県	大学校名	公・私	学科等	定員数・人	修業年
1	群馬県	群馬県立農林大学校	公立	農林業ビジネス学科森林・環境コース	20	2年
2	長野県	長野県立林業大学校	公立	林業専門課程林学科	20	2年
3	岐阜県	岐阜県立森林文化アカデミー	公立	エンジニア科	20	2年
				クリエイター科	20	
4	静岡県	静岡県立農林大学校(林業分校)	公立	養成部林業学科	10	2年
5	京都府	京都府立林業大学校	公立	森林林業科林業専攻	20	2年
6	島根県	島根県立農林大学校	公立	林業科森林エンジニアコース	10	2年
7	秋田県	秋田県立林業大学校	公立	—	15	2年
8	高知県	高知県立林業学校	公立	短期課程	10~100	1ヶ月程度
				基礎課程	20	1年
				専攻課程	コース各10	1年

問 八女市に新規就業者の研修施設を誘致できないか。

答 市内の遊休公共施設などを活用した、県営の新規就業者研修施設の設立を県へ要望している。

問 八女市の今後の教育に対する考えについて

答 先生の長時間労働に対する八女市の対策は、

問 国や教育委員会からのアンケート対応で、教員の9割近くが負担感を示していた。

答 次に研修会などの報告書作成や保護者などからの要望・苦情対応を负担と感じる教員も7割以上に及んだという実情に対する八女市の対策は、

答 教員の一日の平均在校時間が小学校で11時間35分、中学校で12時間6分となり、教員の多忙化が指摘されており、八女市の小中学校においても同様の状況があると認識している。

しつこい。



三角 真弓

高齢者が住み慣れた地域で、自立して生活を営む制度の構築が急務では

答 地域で高齢者を見守り、支える体制の構築を進めている



八女市乗合タクシー

す。

問 介護予防の観点から介護認定を受ける前の方にも、住宅改修へ一部補助し、寝たきりの高齢者をつくらない対策を講じたらどうか。

答 十分に検討していく。住民の交通の手段について

問 在宅医療、介護の推進の中で定期巡回、随時対応型訪問看護、夜間対応訪問介護の対応は、

答 体制等の整備が不十分だったので、本年度から所の公募を上げていく。

問 26年度で高齢者2万1248人中、4064人、

答 第6期の介護保険事業計画(H27年度~H29年度)の中で導入を検討

問 高齢化の進行の中で、乗合タクシーの利用困難になる方の増、路線バス利用の減、福祉有償運送への利用の拡大などを考慮され、ニーズにあった交通機関の整備は、

答 地域公共交通網形成計画を策定し住民のニーズにあつ交通機関にする。

八女地区初の療育施設がオープン

厚生常任委員会現地調査報告

7月1日黒木町にオープンした医療法人尚恵会「八女療育館」を視察した。地元黒木町で代々医院を開業されている富田医師が設立された福祉施設である。

療育とは、しょうがいを持つ子どもが社会的に自立することを目的として行われる医療と教育のことである。「この施設には、未就

学児対象に児童発達支援

をする「ここに」、小学

生から高校生対象に放課

後や長期休みに利用できる

放課後等デイサービス「コ

ンパス」、さらに18歳以上

の方も利用できる生活介

護「ROCOO」の3つの

事業がある。三階建ての

施設には、最新の設備が

整い、利用者への心づかい

がうかがえる。



調査を終えて

私たちへの懇切丁寧な説明のうちに、富田医師、事務長、施設責任者と職員の皆様の療育への熱意を感じた視察であった。対象は八女市、筑後市、広川町と久留米市、みやま市の一部。車で片道1時間位までは、相談のつえ出来る限り対応頂けるとのこと。

市の福祉課、子育て支援課との連携も図られており、利用をお考えの方たちは、気軽に相談されたいかがでしょうか。

全国市議会議長会表彰

第91回全国市議会議長会定期総会(平成27年6月17日)で、市議会議員として 長きにわたり市政の発展に寄与された功績により、表彰を受けられました。



樋口 安癸次議員
(議員35年以上)



松崎 辰義議員
(議員20年以上)



井上 賢治議員
(議員10年以上)



月足 靖彦前議員
(議員10年以上)

沖縄2市の産業振興策を調査

建設経済常任委員会研修報告

名護市

沖縄本島北部の玄関口で人口6万2千人強、教育、文化都市の形態である。名護市の企業誘致の特徴は、製造業から金融・情報通信産業誘致へ移行し、市の設けた施設で税の減免をしながら企業の進出を図り、現在までに雇用を千人規模で創出している。さらに千人増に向けて施設の増設を図っているとのこと。



豊見城市

農業はトマト、マンゴー、ゴーヤーなどの施設栽培を中心に葉野菜や酪農も盛んである。農業振興では都市近郊地域として、野菜や熱帯果樹の生産と流通の拡大を支援している。また、農地保全や経営の安定、担い手の育成も推進している。特にマンゴーは、県より拠点産地の認定を受け、「マンゴーの里」宣言をし、生産意欲と技術の向上を図り、高品質とブランドの確立を目指している。

沖縄本島南部に位置し、面積19.6平方キロメートル。人口6万2千人強。県都那覇市に隣接。今後7年間千人程度の人口増加が予想される活力の溢れるまちである。

八女市にどう生かす

委員会としては、企業誘致や雇用促進の観点から学びべき事も多く、得た情報は市長以下執行部と議会を通じ、また直接訴えながら八女市の現状に照らし対処を促し、我々議員共々八女市発展に尽力すべく、努力をしよう。

より良き紙面を目指して先進地を調査

議会だより編集委員会研修報告

長崎県長与町

長崎市のベッドタウンとして発展し、現在4万2千人超の町である。議会だよりは平均20頁のフルカラー印刷で、8名の広報・広聴常任委員で編集されている。

傍聴者からの声、一人1頁の一般質問スペース、正副議長選挙立候補者の所信表明、表紙写真のテーマ設定など工夫がされている。全国町村議会広報コンクールにおいてカラーの配置、図表の取り入れ方、余白の活かし方などが評価されて奨励賞を受賞されるなど、目を向けたくなる仕上がりとなっており、質の高い議会だよりとなっている。

佐賀県嬉野市

平成18年に嬉野町と塩田町が合併して嬉野市となった。議会改革順位が日経グローバル誌で全国3位となつて脚光を浴び、視察が増加している。

紙面は、8名の議会広報編集特別委員で編集され、議会活動の市民への周知と議会への市民の理解と認識を深めるため、市民視点に立つて見やすく分かりやすい表現(小学4年生が理解



できる文章、身近な写真の使用、余白の活用などに努められている。掲載記事は、市民に直接関わる載せるべき案件を選択されている。

八女市にどう生かす

両市町議会とも、議会だよりを市民への議会情報の提供ツールとして活用し、議会活動への理解度を深めるため、委員自らの力で熱意を持って紙面を創りあげている。

今後「市民のため、議員自らのために」という意識をもつて、分かりやすい表現と目を向けたくなる紙面構成に努め、議会活動への理解度を深めよう。

議会報告会を開催します

～開かれた議会をめざして～

この議会報告会は、市民のみなさんと議員が自由に情報及び意見を交換することで、議会の活動状況や結果を知ってもらうとともに、議会活動等に対するご意見、提言により議会活動を活性化させ、今後のよりよいまちづくりに活かしていくため開催するものです。

今回から7会場での実施へ変更し、従来どおり議会からの報告もいたしますが、みなさんとの懇談を中心に進めていきたいと考えています。どなたでも参加できますので、ご都合のよい会場へお気軽にお越しください。

地区名	月 日	開始時間	会 場	担当	
旧八女東部	11月21日（土）	19:00	おりなす八女 はちひめホール	1班	
					長峰
					上妻
					川崎
旧八女西部	11月12日（木）	19:00	おりなす八女 はちひめホール	3班	
					忠見
					福島
					三河
黒木	11月12日（木）	19:00	黒木支所 大会議室	2班	
					八幡
					岡山
					黒木
					豊岡
立花	11月17日（火）	19:00	立花市民センター イベントホール	2班	
					串毛
					木屋
					笠原
上陽	11月20日（金）	19:00	上陽公民館	2班	
					大淵
					光友
					辺春
矢部	11月19日（木）	19:00	矢部公民館	1班	
					北山
					白木
					星野
星野	11月21日（土）	19:00	星野支所 大集会室	3班	

◎：班長 ○：副班長 カッコ内は常任委員会等を記載

1班	2班	3班
◎三角 真弓（厚生）	◎松崎 辰義（建設経済）	◎井本 政弘（厚生）
○森 茂生（総務文教）	○服部 良一（総務文教）	○田中 栄一（厚生）
樋口安葵次（建設経済）	川口 誠二（議長）	井上 賢治（総務文教）
樋口 良夫（厚生）	吉田 達志（建設経済）	栗山 徹雄（建設経済）
栗原 吉平（総務文教）	中島 信二（総務文教）	中島 富定（建設経済）
牛島 孝之（総務文教）	角田 恵一（厚生）	寺尾 高良（総務文教）
石橋 義博（建設経済）	萩尾 洋（厚生）	大坪久美子（総務文教）
高橋 信広（厚生）	伊井 渡（厚生）	小川 栄一（厚生）
堤 康幸（建設経済）	橋本 正敏（建設経済）	

9月定例会で審議した議案の賛否

【○は賛成・●は反対・一は議長職のため採決には加わりません】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26		
	大坪久美子	橋本正敏	田中栄一	堤康幸	高橋信広	小川栄一	石橋義博	伊井渡	牛島孝之	萩尾洋	角田恵一	服部良一	中島信二	吉田達志	寺尾高良	栗原吉平	樋口良夫	三角真弓	井本政弘	中島富定	森茂生	栗山徹雄	井上賢治	松崎辰義	樋口安次	川口誠二		
報告第10号	報告事項のため、採決はありません																											
報告第11号																												
報告第12号																												
報告第13号																												
報告第14号																												
報告第15号																												
報告第16号																												
報告第17号																												
報告第18号																												
報告第19号																												
議案第75号	欠	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
議案第76号	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
議案第77号	欠	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
議案第78号	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
議案第79号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
議案第80号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
議案第81号	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
議案第82号	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
議案第83号	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
議案第84号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
議案第85号	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
議案第86号	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
議案第87号	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
議案第88号	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
議案第89号	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
議案第90号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
認定第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
選挙	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
選挙	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
委員会提出議案第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
委員会提出議案第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	

9月定例会で審議した議案の結果

報告第10号	専決処分について(事故による損害賠償)	報告
報告第11号	専決処分について(事故による損害賠償)	報告
報告第12号	専決処分について(事故による損害賠償)	報告
報告第13号	医療法人財団クリニックくろぎの平成26年度決算及び平成27年度事業の計画の報告について	報告
報告第14号	株式会社クワイエトやべの平成26年度決算及び平成27年度事業の計画の報告について	報告
報告第15号	一般財団法人星のふるさとの平成26年度決算及び平成27年度事業の計画の報告について	報告
報告第16号	一般財団法人秘境柚の里の平成26年度決算及び平成27年度事業の計画の報告について	報告
報告第17号	一般財団法人FM八女の平成26年度決算及び平成27年度事業の計画の報告について	報告
報告第18号	平成26年度八女市一般会計予算継続費精算報告書の報告について	報告
報告第19号	平成26年度八女市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告
議案第75号	八女市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第76号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第77号	八女市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第78号	八女市社会福祉施設設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第79号	八女市矢部地区観光物産交流施設条例の制定について	可決
議案第80号	八女市管理水面条例の制定について	可決
議案第81号	市道路線の認定について	可決
議案第82号	市道路線の変更について	可決
議案第83号	平成26年度八女市水道事業会計決算剰余金の処分について	可決
議案第84号	平成27年度八女市一般会計補正予算(第2号)	可決
議案第85号	平成27年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第86号	平成27年度八女市簡易水道事業費特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第87号	平成27年度八女市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第88号	平成27年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第89号	平成27年度八女市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第90号	公平委員会委員の選任について《廣津 洋吉》	同意
認定第 1号	平成26年度八女市各会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 2号	平成26年度八女市水道事業会計決算認定について	認定
八女市選挙管理委員会委員の選挙	《服部 武士・山下 繁・山ノ内 美登・大石 官》	当選
八女市選挙管理委員会補充員の選挙	《江口 秀幸・中尾 和則・坂田 寛喜・橋村 慶二》	当選
委員会提出議案第4号	八女市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決
委員会提出議案第5号	八女市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可決
人権擁護委員候補者の推薦について	《太郎良 キヌ子》	適任と認める

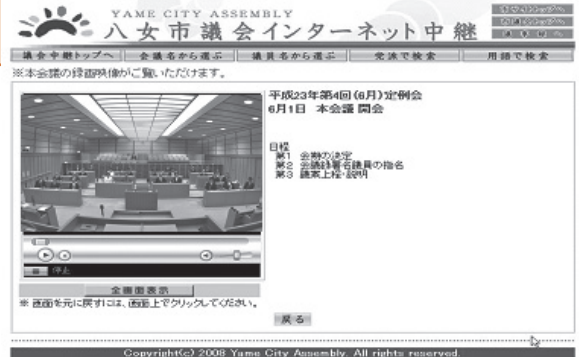
インターネットで議会中継

八女市議会

検索

インターネットから議会の様子を生中継でご覧になれます。録画中継も生中継終了後3日程度(土・日及び祝祭日を除く)で見ることができます。会議名や議員名、用語でも検索できますので、ぜひご覧ください。

http://www.city.yame.fukuoka.jp/gikai/gikai_top.html



議会を傍聴してみませんか?

市政の動向を知るには、議会を傍聴するのが一番です。議員と市執行部とのやりとりを直接ご覧になってみてはいかがでしょうか。事前予約はいりません。

どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。

日程など、詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

TEL 0943-23-4922

FAX 0943-23-4929

E-mail yame_city_gikai@city.yame.lg.jp

こんなことは、「公職選挙法違反」です!

～贈らない!求めない!受け取らない!～

 葬儀の花輪、供花落成式、開店祝の花輪	 当選のお礼	 町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食の差入	 秘書等が代理で出席する場合の結婚祝葬儀の香典	 入学祝・卒業祝
 病気見舞い	 お祭りへの寄付や差入	 暑中見舞い年賀状	 地域の運動会やスポーツ大会への飲食等の差入	 お中元・お歳暮

次回定例会

12月2日(水)

予定

午前10時～立花庁舎議場

編集後記

議員として約5ヶ月、9月議会が閉会したことで、いつも市民の皆さまと議会という機関との距離が遠いような気がしてなりません。議員としてはそれぞれの議員活動により、皆さまと異なる形で接する機会が多々ありますが、議会と市民の皆さまとの交流や対話の場が限られていることもあり、「議会が何をやっているのかわからない」と感じておられる方が大多数ではないかと思えます。

議会を知っていただく手段として、年4回発行の「議会だよりやめ」を読む、本会議を「傍聴」して見て聴く、そして「議会報告会」で意見交換を行うという3つの柱があります。「傍聴」については、議場が行政棟と離れていることもあり、残念ながら空席が目立ちますが、一人でも多くの方が足を運んでいただければよい継続的に活動したいと思っています。また、11月には「会場」で「議会報告会」を開催いたしますが、皆さまの貴重な意見を市政に反映させる絶好の場になるよう、そして議会が少しでも身近な存在に繋がる機会にしたいと存じますので、多数の参加をよろしくお願いたします。

高橋 信広

発行責任者

議長 川口 誠二

議会だより編集委員会

委員長 田中 栄一

副委員長 堤 康幸

委員 松崎 辰義

委員 大坪 久美子

委員 中島 信二

委員 服部 良一

委員 伊井 渡

委員 高橋 正敏

委員 橋本 敏